



高橋和夫 議員

## 海南病院の医療設備等に 対する行政支援を

**質** 高橋和夫議員

地域医療設備の充実は、市民が日常生活を安心して送るために欠かせないことですが、地方自治体の中には、市民病院の運営に莫大な行政予算を執行していながら、施設の不充実や医師不足が深刻な問題になっている所があります。

当市における総合病院としては、愛知県厚生農業協同組合連合会が運営する海南病院（一般病床数547床）がありますが、優秀な設備や医師を擁していることから評判も良く、近隣市町村からの患者も多く連日込み合っています。そこで、今議会で可決された中学卒業までの医療費無料化など、市民に喜ばれる施策はもちろんのこと、有効と思われる医療設備に

対して補助金を出すなど、いろんなかたちで行政支援を行うことが、市民生活の安定と安心に欠かせないと思いますが、市長の見解をお聞きます。

### 地域医療の中核的な病院として支援

**答** 川瀬市長

海南病院は、この地域の唯一の公的病院および基幹病院として位置付けられており、弥富市をはじめ愛西市・蟹江町・飛鳥村・木曾岬町の5市町村と海南病院等で「海南病院運営協力委員会」を組織して、地域の医療・福祉の向上のために調整を図っています。支援については、病棟・手術棟の増築に伴う施設整



▲海南病院新病棟（平成15年2月完成）

備資金の利子補給として、5市町村が12年度から21年度までの10年間に総額15億円を助成しています。弥富市は合計6億円で、年に、旧弥富町分が5000万円、旧十四山村分が1000万円、合計6000万円を助成しています。

また、海南病院には、市民の人間ドック・各種検診

などのほか、市の委託による介護予防事業や「健康づくりフェスティバル」で健康づくりの啓蒙活動に協力をいただいています。

今後も、市民に安全で安心な医療が提供できるように、地域医療の中核的な役割を担う海南病院に対して引き続き支援していきたいと考えています。